



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <http://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 三田 久郎

TEL 011-864-1112

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	18,417	13.7	12	—	53	—	7	—
25年3月期第1四半期	16,194	3.8	△96	—	△67	—	△97	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 76百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △102百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.86	—
25年3月期第1四半期	△11.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	34,196	9,625	26.5
25年3月期	34,787	9,607	26.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 9,054百万円 25年3月期 9,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年3月期	—	—	—	7.00	円 銭	7.00
26年3月期	—	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	円 銭	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期 期末配当金の内訳 普通配当5円 記念配当2円

平成26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当5円 記念配当2円

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	42,000	6.0	370	9.1	450	5.7	220	△7.9	26.69
通期	90,000	4.2	1,000	16.3	1,050	8.1	650	△32.4	78.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	8,347,248 株	25年3月期	8,347,248 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	103,918 株	25年3月期	103,221 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	8,243,330 株	25年3月期1Q	8,252,991 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策などを背景とした円安・株高の進行により輸出関連企業を中心に企業収益が改善しつつあるものの、新興国経済の成長鈍化などから景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、労務費用や建設資材価格の上昇など不安材料があったものの、政府の住宅取得促進施策等の効果や消費税引き上げ前の駆け込み需要などから、新設住宅着工戸数が前年同期を上回るなど堅調に推移いたしました。

このような環境において、当社グループでは、復興需要に積極的に対応したほか、需要拡大の見込まれる太陽光発電や創エネ・省エネ関連商品の取組みを強化いたしました。さらに、顧客獲得と販売シェアの拡大に努め、需要の掘り起こしに向けた営業力の強化と施工体制の拡充により利益確保を図りました。

この結果、当第1四半期の業績は、売上高が184億17百万円（前年同期比113.7%）、営業利益は12百万円（前年同期は営業損失96百万円）、経常利益は53百万円（前年同期は経常損失67百万円）、四半期純利益は7百万円（前年同期は四半期純損失97百万円）となりました。

なお、当社グループの第1四半期業績は、建設工事の完工時期が下期中心となるため、利益面において著しく低下する季節特性があります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

民間の建築需要が堅調に推移したことから、売上高は121億35百万円（前年同期比114.0%）となり、セグメント利益は1億59百万円（同163.9%）となりました

建設工事

前年度からの繰越物件の完工などにより、売上高は39億73百万円（同118.1%）となり、セグメント損失は75百万円（前年同期はセグメント損失1億8百万円）となりました。

石油製品

販売数量は横ばいだったものの販売単価が上昇したことから、売上高は15億29百万円（前年同期比104.0%）となり、セグメント利益は8百万円（同2,094.0%）となりました。

資材運送

建設資材の需要の増加に伴い売上高は6億86百万円（同108.8%）となり、セグメント利益は62百万円（同150.8%）となりました。

その他

売上高は92百万円（同115.8%）、セグメント利益は37百万円（同109.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比5億91百万円減少して341億96百万円(前連結会計年度末比98.3%)となりました。流動資産は同6億56百万円減少して265億54百万円、固定資産は同64百万円増加して76億41百万円となりました。流動資産の減少の主なものは、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同28百万円減少して51億69百万円となりました。無形固定資産は、ほぼ横ばいの1億62百万円となりました。投資その他の資産は、同92百万円増加して23億9百万円となりました。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比6億9百万円減少して245億70百万円(前連結会計年度末比97.6%)となりました。流動負債は、同3億28百万円減少して213億80百万円、固定負債は同2億81百万円減少して31億89百万円となりました。流動負債の減少の主なものは、短期借入金の減少によるものであります。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比17百万円増加して96億25百万円(前連結会計年度末比100.2%)となりました。この増加の主なものは、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の26.0%から26.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,522	3,913
受取手形及び売掛金	18,952	17,521
商品及び製品	499	474
販売用不動産	1,284	1,488
未成工事支出金	1,619	2,725
原材料及び貯蔵品	20	23
その他	377	451
貸倒引当金	△65	△43
流動資産合計	27,210	26,554
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,543	3,503
その他(純額)	1,654	1,666
有形固定資産合計	5,197	5,169
無形固定資産		
投資その他の資産	162	162
その他	2,499	2,591
貸倒引当金	△282	△281
投資その他の資産合計	2,216	2,309
固定資産合計	7,577	7,641
資産合計	34,787	34,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,636	17,693
短期借入金	861	10
1年内返済予定の長期借入金	1,102	1,010
未払法人税等	247	98
賞与引当金	220	82
工事損失引当金	4	4
完成工事補償引当金	29	30
資産除去債務	—	15
その他	1,605	2,435
流動負債合計	21,708	21,380
固定負債		
長期借入金	2,018	1,767
退職給付引当金	218	187
負ののれん	4	3
資産除去債務	18	3
その他	1,212	1,228
固定負債合計	3,471	3,189
負債合計	25,179	24,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	318	318
利益剰余金	8,248	8,197
自己株式	△22	△22
株主資本合計	8,962	8,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	143
その他の包括利益累計額合計	95	143
少数株主持分	550	570
純資産合計	9,607	9,625
負債純資産合計	34,787	34,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	16,194	18,417
売上原価	14,907	16,947
売上総利益	1,286	1,470
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	626	641
その他	756	815
販売費及び一般管理費合計	1,382	1,457
営業利益又は営業損失(△)	△96	12
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	6	5
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	—	0
雑収入	44	54
営業外収益合計	57	68
営業外費用		
支払利息	19	19
債権売却損	5	4
持分法による投資損失	0	—
雑損失	3	3
営業外費用合計	28	27
経常利益又は経常損失(△)	△67	53
特別利益		
固定資産売却益	5	4
特別利益合計	5	4
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△64	57
法人税等	25	29
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△90	28
少数株主利益	7	21
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97	7

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△90	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	48
その他の包括利益合計	△11	48
四半期包括利益	△102	76
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108	55
少数株主に係る四半期包括利益	6	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,649	3,363	1,470	631	16,113	80	16,194	—	16,194
セグメント間の内部 売上高又は振替高	231	90	29	106	458	12	471	△471	—
計	10,880	3,454	1,499	737	16,572	93	16,665	△471	16,194
セグメント利益 又は損失(△)	97	△108	0	41	30	33	64	△161	△96

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△161百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△178百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,135	3,973	1,529	686	18,324	92	18,417	—	18,417
セグメント間の内部 売上高又は振替高	266	92	31	109	498	12	511	△511	—
計	12,401	4,066	1,560	795	18,823	105	18,929	△511	18,417
セグメント利益 又は損失(△)	159	△75	8	62	155	37	192	△179	12

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△179百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△195百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。